

一般社団法人ドナーリンク・ジャパン

第1期

(2023年4月1日～2024年3月31日)

事業報告書



(I) 役員 (2023年4月1日～2024年3月31日)

代表理事	仙波 由加里
理事	久慈 直昭
理事	石塚 幸子
監査	仙波 哲夫
会計	才村 眞理

(II) 登録会員数

(1) 正会員 (社員)	9名
(2) 一般会員 (当事者会員)	6名
(3) 賛助会員(個人)	29名
(4) 賛助会員 (団体)	3団体

(III) 業務契約

- 株式会社 OVUS (DNA マーカーリンク検査委託) (2022年12月～現在に至る)
- プロボノ組織「みんなのさいわい」 (資金調達支援) (2023年7月16日～2024年3月31日)
- かまくらさちこ株式会社 (クラウドファンディング支援) (2023年9月29日～2024年3月31日)

(VI) 実施事業・活動報告

2023年度は次のような事業を展開した。

(1) 設立記者会見の開催

- 2023年4月11日(火) 16:30～17:30、厚生労働省記者クラブにてドナーリンク・ジャパンの設立記者会見を開催。
- 16メディアから計25関係者が会見に出席  
ザ・ハフィントン・ポスト・ジャパン／共同通信社／東京新聞／日本経済新聞社／読売新聞／毎日新聞社／テレビ東京／時事通信社／TBSテレビ／フジテレビジョン／朝日新聞社／北海道新聞社／日本放送協会／テレビ朝日／日本テレビ放送網／Buzz Feed Japan 株式会社

- 会見の様子が全国のテレビや新聞等で報道された
  - ・2023年4月12日 読売新聞オンライン「出自知る権利」団体設立…精子ドナーと子 マッチング <https://www.yomiuri.co.jp/medical/20230412-OYT1T50133/>
  - ・2023年4月11日 東京新聞 生殖医療の当事者が団体設立、遺伝上の親子つなげる「出自を知る権利を」 <https://www.tokyo-np.co.jp/article/243546>
  - ・2023年4月11日 毎日新聞 出自知る権利を 当事者ら団体設立 生殖補助医療の課題解決目指す <https://mainichi.jp/articles/20230411/k00/00m/040/256000c>
  - ・2023年5月5日 日本経済新聞 精子提供者と子つなぐ 「出自知る権利」巡り法人設立 <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUE251N30V20C23A4000000/>
  - ・2023年4月11日 朝日新聞 「出自を知る権利保障を」 精子提供者と子どもをつなぐ団体設立 <https://digital.asahi.com/articles/ASR4C6GJTR4CUTFL00V.html>  
(他多数)



## (2) HP の公開開始

2023年4月11日より HP(日本語ページ)の公開 (<https://donorlinkjp.org>)

2023年6月1日より HP(英語ページ)の公開 (<https://donorlinkjp.org/en/>)

## (3) 会員募集のためのオンライン説明会 (参加費無料)

- 2023年5月8日(月) 19:00~20:00
- 参加対象者：
  - 精子提供や卵子提供で生まれた者と過去に精子や卵子を提供した者で、当団体の会員申込み及びドナーリンクへの申込みを検討されている者
  - 当団体の活動に興味・関心があり、賛助会員への申込みを検討している者
  - その他、当団体の取り組みに興味関心のある者

- ドナーリンク・ジャパンのメンバーがそれぞれの担当部署について説明。
- 参加者は100名を越えた。

#### (4)会員の募集開始

2023年5月9日より会員募集の開始

#### (5)DNA マーカーリンク検査の運用開始

- 登録希望者への事務面談・心理面談も開始
- 株式会社OVUSにサンプル送付、データ管理の開始

#### (6)心理・社会福祉専門家養成講座4回シリーズの開催(オンライン日英逐次通訳付)

- 2023年5月から7月にかけて心理・社会福祉専門家養成講座をオンラインで4回開催
- ドナーリンク(マッチング)を希望する、提供精子で生まれた人や精子提供の経験を持つ人々を、心理面・社会面で支援する専門家の養成を目的に開催。講師として、ドイツからペトラ・ソーン氏(不妊カウンセラー、ファミリーカウンセラー、ソーシャルワーカー)とベルギーからアストリッド・インディケール氏(心理カウンセラー)
- 講師：

1回目	5/23	ペトラ・ソーン
2回目	6/12	アストリッド・インディケール
3回目	7/19	アストリッド・インディケール
4回目	7/20	ペトラ・ソーン & アストリッド・インディケール
- 各回、約25名参加
- 講座資料は「会員のページ」で会員には公開。非会員の参加者にはメールで資料配布



#### (7)学術学会等への参加

- 2023年12月7日 日弁連主催シンポジウム「生殖医療技術の法整備について考える」(石塚幸子、平原興先生報告)

- 2023年12月9日 日本生命倫理学会年次大会特別企画シンポジウム  
「提供配偶子による生殖医療と子どもの出自を知る権利—配偶子提供を受けて親になった人が抱える課題—」（仙波由加里企画・運営・司会）
- 2023年12月10日 人間福祉学会シンポジウム「子どもの Well-being を高めるアクションへの視点」（石塚幸子登壇）

#### (8)助成金申請

- 2023年9月 医療貢献活動助成 申請 ⇒ 不採択
- 2023年10月 日本財団助成金 申請 ⇒ 不採択
- 2023年11月 森村豊明会助成金 申請 ⇒ 採択
- 2023年12月 三菱財団助成金 申請 ⇒ 審査中（2024年6月結果通知）

#### (9)クラウドファンディングの実施

2024年2月1日から2024年2月29日まで、クラウドファンディングを実施。クラウドファンディングの経験の豊富な鎌倉幸子氏にアドバイスを受けながら、プラットフォーム CAMPFIRE を使い、目標額を200万円に設定。最終日までに159名から計2,103,123円（+100ドル）の支援金を頂き、目標額を達成。

#### (10)オンラインイベント「精子ドナーとAIDで生まれた人の対談会」開催

2024年2月3日（土）町田事務所に精子ドナー1名、AID出生者3名が集まり、オンラインでAID出生者1名が参加して、精子ドナーとAIDで生まれた人の対談会を開催。当日約40名、アーカイブで90名ほどの人に視聴された。メディアにもこのイベントはとり上げられた。

#### (11)オンラインイベント「ニュージーランドから精子提供者と彼の提供で生まれた女性をむかえて」開催（日英逐次通訳付）

2024年3月13日（水）ニュージーランドから、過去に精子提供の経験を持つ Steve Henryさんと、彼の提供で生まれた Siobhan Ellisさんを迎え、DLJのメンバーでAID出生者でもある石塚幸子も加わってオンラインでの対談会を開催。当日約25名、アーカイブで40名ほどの人に視聴された。

#### (12)理事会の開催

重要事項（契約関係や助成金申請など）について、オンラインで、理事3名が検討。

開催日：2023年8月7日、2023年12月16日、2024年3月8日

### (13)DLJ メンバー月例会議

2023年4月から2024年3月にかけて、月1回のペースでオンラインで月例会議を実施。重要事項についての確認、報告、及び決定の必要なことについてメンバー全員で検討する。  
開催日：2023年4月13日、5月18日、6月12日、7月24日、9月20日、10月18日、  
11月17日、12月11日、  
2024年1月17日、2月20日、3月18日

### (14)ニューズレターの発行

2023年5月から2024年3月末までに、会員のページにて計13回（第13号まで）発行



### (15)新聞・雑誌掲載

- 2023年5月11日 読売オンライン「出自を知る権利 民間先行…人工授精 提供者は「匿名」
- 2023年6月12日 「AID当事者とドナーを結ぶドナーリンク設立 人が関わった命確認したい思い」AERA No. 26: pp.29-31. (石塚幸子、仙波由加里、久慈直昭コメント)
- 2023年6月16日 毎日新聞「論点 生殖医療の課題 生まれた子の利益 最優先」(仙波由加里コメント)
- 2023年6月20日 毎日新聞オンライン「生殖補助医療「出自を知る権利」を限定すべきでない理由とは」(仙波由加里コメント)
- 2023年6月 「ドナーリンク・ジャパンの設立の目的と課題」日本生殖看護学会ニュースレター No.65: pp.1-2 (仙波由加里 執筆)
- 2023年7月3日 読売オンライン「[スキャナー]「代理出産」調整に苦心…第三者提供の不妊治療、また法案見送り」(石塚幸子コメント)

- 2023年7月5日 朝日デジタル「人工授精の精子ドナー、情報伝える動き「出自を知りたい」訴える声の高まり受け」（ドナーリンク・ジャパンの紹介あり）
- 2023年7月16日 朝日デジタル「(社説2) 出自を知る権利 子どもの立場優先で」（仙波由加里コメント）
- 2023年11月8日 熊本日日新聞「養子の「出自を知る権利」検討会」（森和子コメント）
- 2024年3月8日 毎日新聞「どうすれば安全安心 非配偶者間人工授精の出生 出自を知る権利、子が訴え」（石塚幸子、仙波由加里コメント）  
\* 共同通信による記事の配信のため、同記事が以下の新聞にも掲載された  
東奥日報 (2/4)、秋田さきがけ (2/4)、デーリー東北(2/18)、中國新聞 (2/20)、長崎新聞 (2/26)、北海道新聞 (2/27)、埼玉新聞 (2/28)、山陽新聞 (3/6)、山陰新聞 (3/6)、愛媛新聞 (3/8)、千葉新聞 (3/10)、山梨日日新聞 (3/19)、静岡新聞 (3/19)、産経新聞 (3/21)、中部経済新聞 (3/29)
- 2024年4月7日 朝日新聞デジタル「精子・卵子提供で生まれた子「出自を知る権利」どこまで法案提出へ」（石塚幸子コメント）

## (V) 今後の課題

2023年度については、事業を開始したばかりであり、メディアにも注目されることが多かった。しかし、期待していたほど会員登録数が増えず、今後の一番の課題は、どのようにして会員を増やしていくかである。特に一般会員（提供医療で生まれた人とドナー）の登録が少なく、今後どのように広報を行い、一般会員の登録を増やすかを考える必要がある。賛助会員の登録者も増やす必要があり、2024年度からは、サポート会員（年会費3000円）という会員カテゴリーをあらたに設定する。

2023年度は、スタッフ全員がそれぞれの役割を順調にこなし、大きな問題が起こることはなかった。しかし、安定した運営のための資金調達と、あらたなスタッフのリクルートも今後の大きな課題である。

以上

## 第1期収支決算書

### 損益計算書

自 令和5年 4月 1日  
至 令和6年 3月 31日

一般社団法人ドナーリンク・ジャパン

(単位：円)

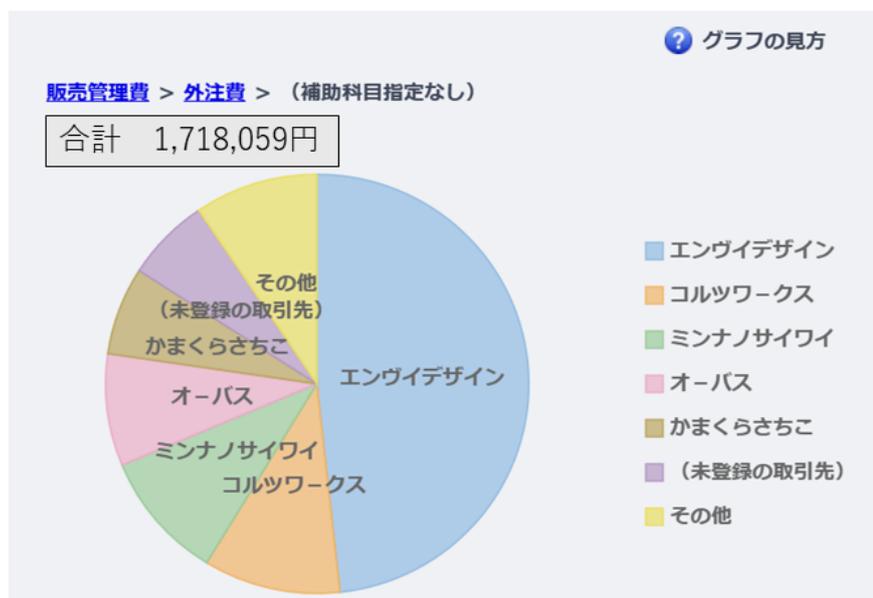
I 売上高		1,443,000	← 主に賛助会員などの会費とセミナー参加費
II 売上原価		0	
売上総利益		1,443,000	
III 販売費及び一般管理費			
外注費	1,718,059		← 外注費の内訳は次ページ
荷造運賃	1,890		
広告宣伝費	20,000		
交際費	36,208		
会議費	51,300		
旅費交通費	132,866		
通信費	135,890		
消耗品費	1,800		
支払手数料	1,375		
貸借料	1,096,048		← オフィスの家賃
租税公課	33,135		
コンサルティング費用	30,000	3,258,571	
営業損失		1,815,571	
IV 営業外収益			
受取利息	17		
雑収入	6,606		← 助成金クラファンによる収入
寄付金収入	3,439,526	3,446,149	
経常利益		1,630,578	
税引前当期純利益		1,630,578	
法人税、住民税及び事業税		12,500	
当期純利益		1,618,078	

## 売上先



Peatix	セミナー参加費	204,000円
その他	賛助会員などの会費	1,239,000円

## 経費外注費



## 貸借対照表

令和6年 3月31日 現在

一般社団法人ドナーリンク・ジャパン

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流動資産	<b>4,786,479</b>	I 流動負債	<b>252,668</b>
現金及び預金	4,786,479	未払金	252,668
		負債の部合計	<b>252,668</b>
		純資産の部	
		I 株主資本	<b>4,533,811</b>
		資本金	2,915,733
		利益剰余金	<b>1,618,078</b>
		その他利益剰余金	<b>1,618,078</b>
		繰越利益剰余金	1,618,078
		純資産の部合計	<b>4,533,811</b>
資産の部合計	<b>4,786,479</b>	負債及び純資産合計	<b>4,786,479</b>